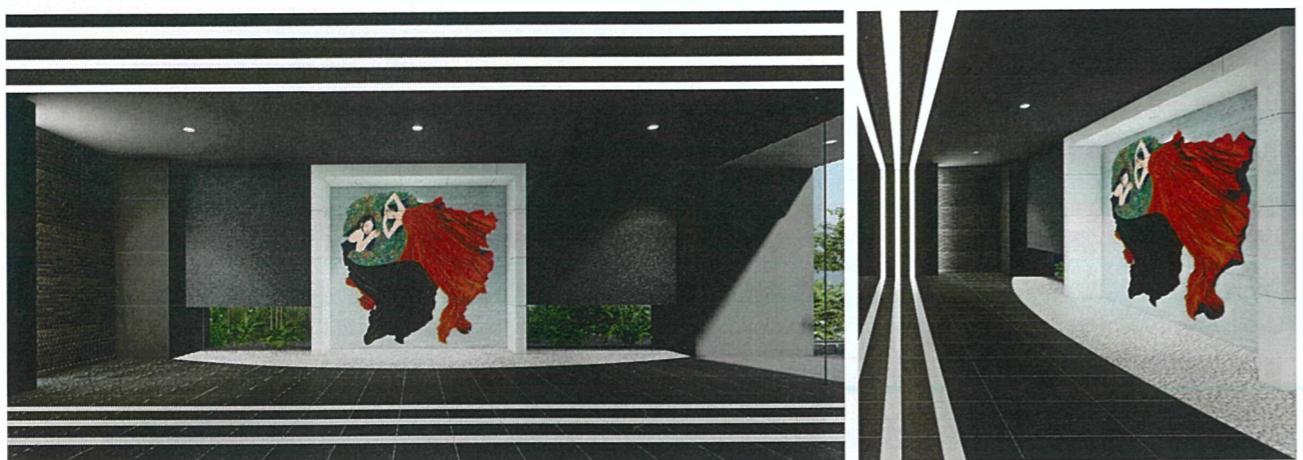


AAC2022応募用紙A

作品の設置方法を選んで、チェックをつけてください	
<input type="checkbox"/> 台座置き	<input checked="" type="checkbox"/> 壁付

※台座置きの作品は台座のサイズも分かるように記入すること
※台座のサイズは自由

作品および設置イメージ・説明・制作方法



説明:

本作品は、「光」、「風」、「香」をイメージしており、躍動感と生命感あふれる彩度の高い色合いと形を表現しています。エントランスのクールな雰囲気および窓からみえる自然の景色と互いに引き立つ作品を作り出したいです。

制作工程及び方法(イメージ図添付) :

- 一枚の牛革を合板にネジで固定し、造形する(図1)。
- 革に生漆を吸い込ませて固めてから、形を補強するため麻布を糊漆で貼る(表と裏2枚ずつ)。
- 表の平面の部分は、絵を描くためのキャンバスを糊漆で貼り付ける。
- 表の立体の部分は、漆塗りの原型素地を作るため、下地をつける(荒いから細かいまで、5層程度)。
- 表の立体の部分は、黒漆を塗り、研ぐ作業(3回程度繰り返す)。
- 表のスカートの部分に朱漆、他の部分に黒漆を塗り、研ぐ(それぞれ2回程度繰り返す)。
- 最後に漆の部分を全体に磨き上げることにより鏡面に仕上げる(図2、3)。
- 表の平面の部分には、岩絵具で絵を描く(図4)。
- 裏は壁にかけるため、いくつの箇所で木を埋めて金具をつける。

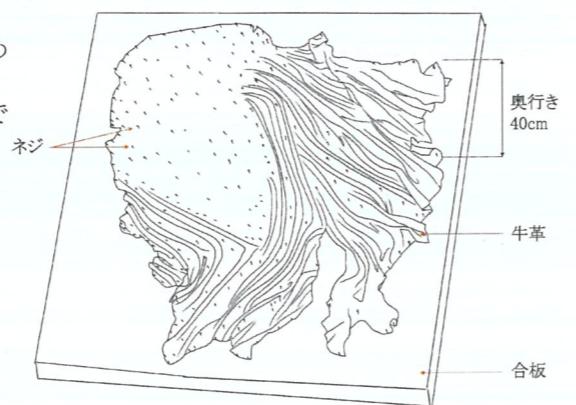


図1 牛革を固定、造形する工程



図2 赤漆による仕上げ



図3 黒漆による仕上げ



図4 キャンバスに岩絵具

注:イメージ図とする図2、3、4は過去作品の部分

恒久性及び安全性:

本作品に使用している漆や岩絵具、基底材になる牛革や麻布は、早くても飛鳥時代から使われており、恒久性がすでに検証されていて、耐久性に関しては問題ありません。

本作品(奥行き2~40cm、重さ15~25kg)は、平面作品のように壁にかけ十分な安全性を保つことができます。また、より最適な設置方法などは事務局と打ち合わせする予定です。



完成作品イメージ図

AAC2022応募用紙B

作品名	Slow Down Time	作品NO.	22
素材	牛革、麻布、漆、天然岩絵具、金沙子	想定重量	25 kg
作品サイズ	横幅 2100 × 高さ 2000 × 奥行 400 (単位: mm)		

作品コンセプト

本作品は二人の女性が自然の中に出かけ、さわやかな日差しと風を受け、日々の暮らしからの気持ちを開放し、のんびりとした時間を共に過ごしている様子を表現しています。

この作品により、居住者が女性や自然の持つ美のイメージを感じると共に、現代社会の持つ緊張やストレスから解き放たれることを祈願しています。私たちのチームは、これまで漆芸及び絵画の伝統技法を用い、伝統素材及び造形作品の可能性を探求してきました。今回の作品では平面と半立体を合わせた斬新なスタイルの作品を制作します。

【過去の自分の作品】※画像や写真等を配置もしくは貼り付けてください			
コラボレーション作品		絵画作品	
漆芸作品		漆芸作品	
絵画作品		絵画作品	